



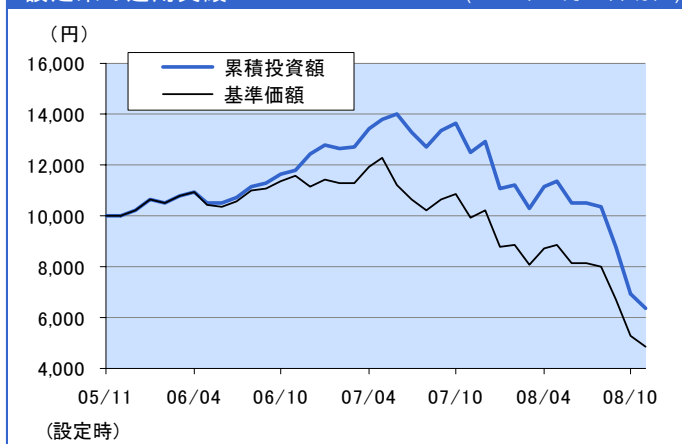
Fidelity World Attractive Dividend Stock Fund

フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド

販売用資料

2008年12月(月次改訂)

設定来の運用実績 (2008年11月28日現在)



※累積投資額は、ファンド設定時に10,000円でスタートしてからの収益分配金を再投資した実績評価額です。ただし、申込手数料および収益分配金にかかる税金は考慮していません。
 ※基準価額は信託報酬控除後のものです。
 ※当該実績は過去のものであり、将来の運用成果等を保証するものではありません。

累積リターン (2008年11月28日現在)

	直近1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	設定来
ファンド	-8.12%	-38.28%	-43.79%	-49.00%	-36.24%	-36.23%

※累積リターンは、収益分配金を再投資することにより算出された収益率です。

過去5期分の収益分配金(税込み)

第8期 (2007/09/20)	80円
第9期 (2007/12/20)	80円
第10期 (2008/03/21)	80円
第11期 (2008/06/20)	80円
第12期 (2008/09/22)	80円

※分配金は過去の実績であり、将来の成果を保証するものではありません。
 また運用状況によっては分配を行わない場合があります。

基準価額	4,885円	(2008年11月28日現在)
------	--------	-----------------

月中高値	5,625円	(11月5日)
月中安値	4,402円	(11月21日)

純資産総額	183.6 億円	(2008年11月28日現在)
-------	----------	-----------------

コメント (2008年11月28日現在)

11月の世界株式相場は、MSCIワールド・インデックスの月間騰落率で▲6.00%。

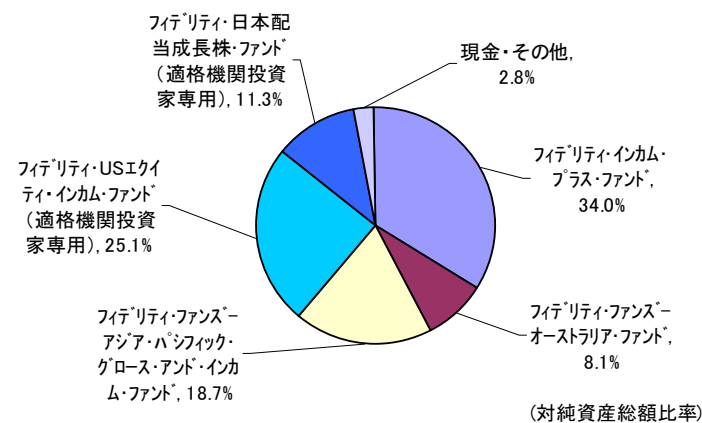
米国株式相場は、S&P500▲7.48%、ダウ工業株30種平均▲5.32%、ナスダック指数▲10.77%。月初、雇用統計など景気指標が前月に続き悪化したことや、大手自動車会社の資金繰り悪化の報道などから、相場は下落基調。その後も個別企業の業績悪化などから、投資家心理はさらに悪化。終盤、オバマ次期大統領の新経済運営チームへの期待感の高まりなどから相場は反発して終了。MSCIヨーロッパ・インデックスは▲4.67%。ECB(欧州中央銀行)が0.5%の利下げを行い、BOE(英国中銀)が1.5%の予想外の大規模利下げを行なったにも関わらず、企業業績の悪化懸念は根強く、相場は下落基調。アジア株式指数は、MSCI ACファア・イースト・フリー・インデックス(除く日本)は▲2.21%。

香港ハンセン指数は▲0.58%。中国国務院が、4兆元の大規模な景気刺激策の導入を決めたことなどの好材料はあったものの、米実体経済の悪化を背景とした米国株式の下落を受けて軟調に推移。後半は米国株式が上昇したことや中国人民銀行(中銀)が1.08%の大規模利下げを行なったことなどから反発。台湾加権指数は▲8.42%。半導体セクターなどテクノロジー関連企業の業績悪化が懸念されたほか、米国株式の下落、陳前大統領の逮捕を受けた投資家心理の悪化などが相場下落要因。韓国総合指数は▲3.32%。債券安定ファンドの設立や政府の景気対策などは評価されたものの相場の方向性を変えるには至らず、下落。オーストラリアASX200指数は▲6.86%。中国などからの鉄鉱石需要の縮小や、資源相場の下落が重石。

シンガポールST指数は▲3.43%。輸出(石油、再輸出を除く)が6ヶ月連続の落ち込みとなり、テクノロジー企業中心に業績懸念が拡大し相場は下落。(※文中の騰落率は表記の無い限り現地月末、現地通貨ベース、為替はWMR使用。)

ポートフォリオの状況 (2008年10月31日現在)

ファンド別組入状況



*未払金等の発生により「現金・その他」の数値がマイナスになることがあります。

*グラフにある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

※上記コメントは、資料作成時点におけるもので将来の市場環境等の変動等を保証するものではありません。



Fidelity World Attractive Dividend Stock Fund

フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド

投資対象ファンドの運用状況

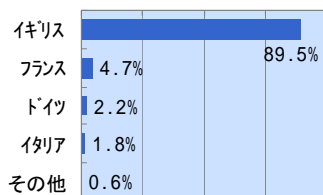
フィデリティ・インカム・プラス・ファンド

資産別組入状況

株式	98.9%
現金・その他	1.1%

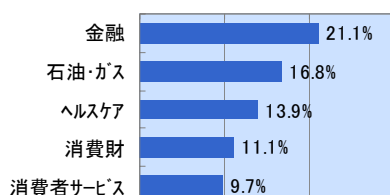
組入上位5ヶ国

0% 25% 50% 75% 100%



組入上位5業種

0% 10% 20% 30%



組入上位10銘柄

	銘柄	比率	配当利回り
1	BP	8.3%	5.6%
2	HSBC HOLDINGS (UK REG)	8.0%	5.2%
3	GLAXOSMITHKLINE	7.3%	4.5%
4	VODAFONE GROUP	5.0%	6.1%
5	ASTRAZENECA (UK)	4.6%	3.9%
6	ROYAL DUTCH SHELL 'B' (UK)	4.0%	4.8%
7	NATIONAL GRID TRANSCO	3.8%	4.6%
8	IMPERIAL TOBACCO GROUP	3.5%	3.7%
9	BAE SYSTEMS	3.0%	3.1%
10	BRITISH AMERICAN TOBACCO	2.9%	3.8%

(組入銘柄数 : 56) 上位10銘柄合計 50.4%

※ 2008年9月末現在のデータです。

※ フィデリティ・インカム・プラス・ファンドは英国籍証券投資法人です。

※ 本項は、当ファンドの管理事務代行会社であるFIL・インベストメント・サービス(UK)・リミテッドの提供するデータに基づき作成しております。

*組入上位10銘柄の配当利回りの出所: Bloomberg、12ヶ月利回り(ネット)を使用。

フィデリティ・ファンズ・オーストラリア・ファンド

資産別組入状況

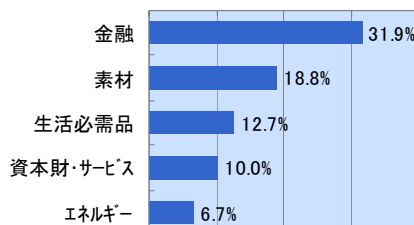
株式	95.8%
現金・その他	4.2%

国別組入状況

オーストラリア	95.2%
その他	0.6%
現金・その他	4.2%

組入上位5業種

0% 10% 20% 30% 40%



組入上位10銘柄

	銘柄	比率	配当利回り
1	COMMONWEALTH BANK OF AUSTRALIA	10.1%	6.2%
2	BHP BILLITON	8.1%	2.6%
3	WOOLWORTHS (AU)	7.2%	3.4%
4	RIO TINTO (AU)	7.1%	2.0%
5	WESTPAC BANKING	5.6%	6.4%
6	CSL	4.4%	1.2%
7	TELSTRA	4.1%	6.7%
8	AUSTRALIA & NEW ZEALAND BANKING GROUP (A WESFARMERS)	4.0%	7.3%
9	OIL SEARCH	3.7%	11.8%
10		3.6%	1.6%

(組入銘柄数 : 43) 上位10銘柄合計 57.9%

※ 2008年9月末現在のデータです。

※ フィデリティ・ファンズ・オーストラリア・ファンドはルクセンブルグ籍証券投資法人です。

※ 本項は、当ファンドの管理事務代行会社であるFIL(ルクセンブルグ)エスエイの提供するデータに基づき作成しております。

*組入上位10銘柄の配当利回りの出所: Bloomberg、12ヶ月利回り(ネット)を使用。

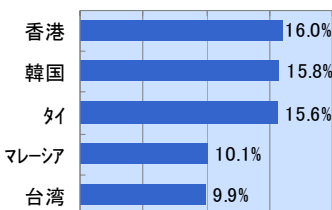
フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・グロース・アット・インカム・ファンド

資産別組入状況

株式	80.9%
現金・その他	19.1%

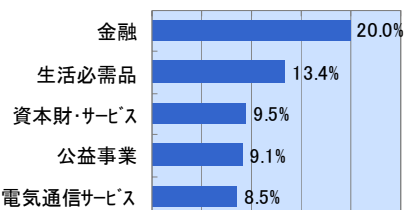
組入上位5ヶ国

0% 5% 10% 15% 20%



組入上位5業種

0% 5% 10% 15% 20% 25%



組入上位10銘柄

	銘柄	比率	配当利回り
1	C.P. ALL	4.0%	3.2%
2	PUBLIC BANK (F) (MY)	3.7%	5.9%
3	WING LUNG BANK	3.3%	1.3%
4	WOOLWORTHS (AU)	3.0%	3.4%
5	SMRT	3.0%	3.9%
6	SFA ENGINEERING	2.8%	2.7%
7	SAMCHULLY	2.3%	1.0%
8	BEC WORLD (FOR)	2.0%	5.4%
9	INDUSTRIAL & COMMERCIAL BANK OF CHINA (A)	1.9%	3.3%
10	KYUNG DONG CITY GAS	1.8%	2.0%

(組入銘柄数 : 120) 上位10銘柄合計 27.8%

※ 2008年9月末現在のデータです。

※ フィデリティ・ファンズ・アジア・パシフィック・グロース・アット・インカム・ファンドはルクセンブルグ籍証券投資法人です。

※ 本項は、当ファンドの管理事務代行会社であるFIL(ルクセンブルグ)エスエイの提供するデータに基づき作成しております。

*組入上位10銘柄の配当利回りの出所: Bloomberg、12ヶ月利回り(ネット)を使用。

*各々のグラフ・表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。



Fidelity World Attractive Dividend Stock Fund

フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド

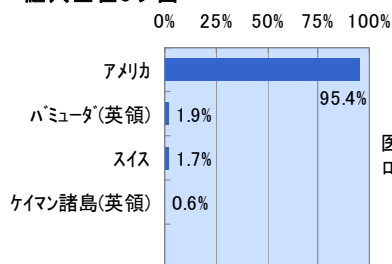
投資対象ファンドの運用状況

フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド[®] (適格機関投資家専用)

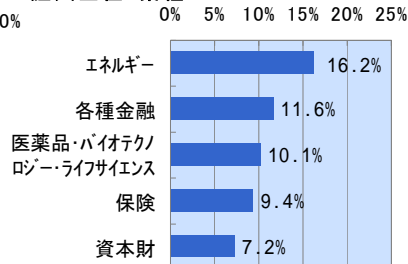
資産別組入状況

株式	99.6%	投資信託・投資証券	-
新株予約権証券(ワント)	-	現金・その他	0.4%

組入上位5ヶ国



組入上位5業種



組入上位10銘柄

銘柄	比率	配当利回り
1 EXXON MOBIL CORP	4.5%	1.9%
2 CONOCOPHILLIPS	4.4%	2.5%
3 BANK OF AMERICA CORPORATION	4.2%	7.3%
4 PFIZER INC	2.8%	6.8%
5 GENERAL ELECTRIC CO	2.7%	4.9%
6 AT&T INC	2.4%	5.6%
7 VALERO ENERGY CORP	2.1%	1.8%
8 WELLS FARGO COMPANY	2.0%	3.4%
9 HOME DEPOT INC	2.0%	3.5%
10 CITIGROUP INC	1.9%	7.3%

(組入銘柄数 : 87) 上位10銘柄合計 29.1%

※ 資産別組入状況、組入上位5ヶ国、組入上位5業種については2008年10月末現在、組入上位10銘柄については2008年9月末現在のデータです。

※ フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド[®] (適格機関投資家専用)は国内証券投資信託であり、ファミリーファンド方式で運用しております。ここではフィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド[®] (適格機関投資家専用)の主要投資対象であるフィデリティ・USエクイティ・インカム・マザーファンド[®]の状況を、フィデリティ・USエクイティ・インカム・ファンド[®] (適格機関投資家専用)ベースに再計算して表示しています。

*組入上位10銘柄の配当利回りの出所: Bloomberg、12ヶ月利回り(ネット)を使用。

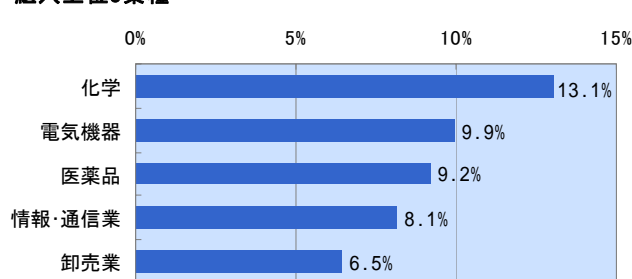
フィデリティ・日本配当成長株・ファンド[®] (適格機関投資家専用)

資産別組入状況

株式	93.3%
新株予約権証券(ワント)	-
投資信託・投資証券	4.3%
現金・その他	2.4%

※ 現金・その他には「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」(0.0%)を含みます。

組入上位5業種



国別組入状況

日本	97.6%
現金・その他	2.4%

※ 現金・その他には「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」(0.0%)を含みます。

組入上位10銘柄

銘柄	比率	予想配当利回り
1 野村ホールディングス	3.9%	2.6%
2 エヌ・ティ・ティ・コム	3.3%	2.9%
3 松下電工	3.0%	2.7%
4 日本オグル	2.5%	3.6%
5 みずほフィナンシャルグループ	2.5%	2.3%
6 三井住友フィナンシャルグループ	2.5%	2.2%
7 三井物産	2.3%	3.9%
8 三菱商事	2.3%	3.3%
9 東北電力	2.1%	2.6%
10 テンソー	2.0%	2.1%

(組入銘柄数 : 104) 上位10銘柄合計 26.3%

※フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)は組入れ上位10銘柄から除いています。

※ 資産別組入状況、国別組入状況、組入上位5業種については2008年10月末現在、組入上位10銘柄については2008年9月末現在のデータです。

※ 予想配当利回りは、1株当たりの予想配当金(東洋経済新報社公表データ)を基にフィデリティ投信が算出しています。

データは記載時点のものであり、将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。

※ フィデリティ・日本配当成長株・ファンド[®] (適格機関投資家専用)は国内証券投資信託であり、ファミリーファンド方式で運用しております。ここではフィデリティ・日本配当成長株・ファンド[®] (適格機関投資家専用)の主要投資対象であるフィデリティ・日本配当成長株・マザーファンド[®]の状況を、フィデリティ・日本配当成長株・ファンド[®] (適格機関投資家専用)ベースに再計算して表示しています。

* ファンドは短期資金の運用の一環として、委託会社が設定した「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」に投資する場合があります。これはあくまでも短期資金の運用であるため、株式・債券組入上位5銘柄には含めず、資産としては「現金等」に分類いたしております。なお、未払金等の発生により、「現金・その他」の数値が「フィデリティ・円キャッシュ・ファンド(適格機関投資家専用)」の数値を下回ることがあります。

*各々のグラフ・表にある比率は、それぞれの項目を四捨五入して表示しています。

投資方針

- ① 主として、国内外の取引所に上場されている株式を主要投資対象とする投資信託証券に投資を行いません。
- ② 組入れる投資信託証券は、フィデリティが運用するファンドの中から選定します。
- ③ 投資信託証券の組入れにあたっては、投資信託証券の中から、予想配当利回り、リスク・リターン特性、銘柄分散度、投資スタイル等の定性・定量評価などを考慮して選択した投資対象ファンドに投資します。
- ④ 組入れた投資対象ファンドは定期的にモニターを行ない、ファンド全体の予想配当利回り、リスク分散等を考慮し、組入れ比率の調整を行いません。
- ⑤ 投資対象ファンドは定性・定量評価に基づき適宜見直しを行いません。この際、投資対象ファンドとして指定されていた投資信託証券が、投資対象ファンドから除外されたり、新たに追加される場合があります。
- ⑥ 投資対象ファンドにおいては、個別企業分析にあたり、フィデリティの世界主要拠点のアナリストによる企業調査結果を活かし、ポートフォリオ・マネージャーによる「ボトム・アップ・アプローチ」を重視した運用を行いません。
- ⑦ 投資対象ファンドが投資する資産には、ファンド運用開始時点においては、米国株式、英国株式(欧州を含む)、日本株式、オーストラリア株式、アジア・パシフィック株式が含まれます。
- ⑧ ファンドは、投資家の利益拡大に適切であると判断されるファンドを投資対象ファンドとして選別することにより、配当収入の確保、運用収益向上を図ります。
- ⑨ 組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。

資金動向、市況動向、残存信託期間等によっては上記のような運用ができない場合もあります。

ファンドの主なリスク内容について

投資信託はリスク商品であり、投資成果は保証されておらず、投資元本を下回ることがあります。

また収益や投資利回り等も未確定の商品です。

下記はファンドのリスクの一部をご説明したものです。

詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご参照ください。

損失の可能性

ファンドが主として投資を行なう投資対象ファンドは、主に国内外の株式を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。ファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた株式やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、原則として為替ヘッジを行いませんので、為替変動により基準価額は変動します。さらに、投資対象ファンドが組み入れた株式やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、組入株式の価格の下落や、組入株式の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。委託会社の指図に基づく行為によりファンドに生じた損失はすべて受益者に帰属し、元本が保証されているものではありません。

有価証券(株式・債券等)の価格変動リスク

基準価額は株価や債券価格等の市場価格の動きを反映して変動します。

為替リスク

日本以外の外国の株式や債券等に投資を行なう場合は、為替リスクが発生し、各国通貨の円に対する為替レートにより、ファンドの基準価額が変動します。なお、ファンドは原則として外貨建資産について為替リスクを回避するための為替ヘッジを行いません。

カントリー・リスク

海外の金融・証券市場に投資を行なう場合は、当該国・地域の政治、経済および社会情勢の変化により、金融・証券市場が混乱した場合に、基準価額に大きな変動をもたらす可能性があります。また、投資対象先がエマージング・マーケット(新興諸国市場)の場合には、特有のリスク(政治・社会的不確実性、決済システム等市場インフラの未発達、情報開示制度や監督当局による法制度の不整備、為替レートの大きな変動、外国への送金規制等)が想定されます。

解約によるファンドの資金流出に伴う基準価額変動のリスク

解約資金を手当するため、投資対象ファンドにおいて保有証券を売却いたします。その際には、取引執行コストがかかり、ファンドの基準価額の下落要因となります。また、売却の際の市況動向や取引量等の状況によっては基準価額が大きく変動する可能性があります。また、保有証券の売却代金回収までの期間、一時的にファンドで資金借入を行なうことによりファンドの解約代金の支払に対応する場合、借入金利はファンドが負担することになります。

信用リスク

株式および債券等の有価証券の発行企業が経営不安、倒産等に陥った場合には、投資資金が回収できなくなる場合があります。また、債券等へ投資を行なう場合には、発行体の債務不履行や支払遅延等が発生する場合があります。

ボトム・アップ・アプローチに関するリスク

投資対象ファンドは、ボトム・アップ・アプローチで組入銘柄を決定します。国別配分、通貨配分および業種配分その他のリスク管理も行ないませんが、結果的に、ポートフォリオの国別配分、通貨配分および業種配分や銘柄構成等が投資対象国または地域の株式市場全体とは大きく異なるものとなる場合も想定されます。その場合、ファンドおよび投資対象ファンドの基準価額の値動きは、投資対象国または地域の株式市場全体やベンチマークの動きと大きく異なる場合も想定されます。

フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド

追加型株式投資信託 / ファンド・オブ・ファンズ

商品の内容やお申込みの詳細については

委託会社 フィデリティ投信株式会社

インターネットホームページ : <http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>

フリーコール : 0120-00-8051 受付時間: 営業日の午前9時～午後5時または販売会社までお問い合わせください。

留意点 お申込みおよびご換金の受付については、原則として、毎営業日(ただし、ニューヨーク証券取引所の休業日、ニューヨークにおける銀行休業日、英国の休業日および12月25日の場合は除きます。)の午後3時 半日営業日の場合は午前11時 まで受け付けます。

その他のファンド概要

設定日 2005年11月30日

信託期間 原則として無期限

ベンチマーク ファンドにはベンチマークを設けません。

収益分配 毎年3、6、9、12月の各20日(ただし休業日の場合は翌日以降の最初の営業日)に決算を行ない、収益分配方針に基づき分配を行ないます。ただし、必ず分配を行なうものではありません。

お申込み価額 お申込み受付日の翌営業日の基準価額

ご換金価額 換金請求受付日の翌営業日の解約価額(=基準価額 - 信託財産留保額)
ご換金代金の支払開始日は原則として換金請求受付日より6営業日以降になります。

ファンドに係る費用・税金

お申込み手数料 3.15%(税抜き3.00%)を上限として販売会社がそれぞれ定める料率とします。

ご換金手数料 なし

信託報酬 純資産総額に対し年率0.72975%(税抜き0.695%)

このほかに、ファンドが投資する投資信託証券の運用報酬等が別途課されるため、実質的な信託報酬等は、年率1.35%±0.10%(税抜き)程度となる予定です。(投資する投資信託証券の変更等により実質的な信託報酬等は変動することがあります。)

その他の費用 法定書類等の作成等に要する費用、監査費用等が投資信託財産から差し引かれます。

課税関係 収益分配時の普通分配金ならびにご換金時および償還時の個別元本超過額に対して課税されます。なお、個人の受益者については、2009年1月1日から収益分配時には普通分配金に対して課税され、ご換金時および償還時には譲渡益に対して課税されます。

信託財産留保額 基準価額に対して0.30%

当該手数料・費用等の上限額および合計額については、お申込み金額や保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。ファンドに係る費用・税金の詳細については、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

委託会社、その他の関係法人

委託会社 フィデリティ投信株式会社【金融商品取引業者】関東財務局長(金商)第388号
【加入協会】社団法人 投資信託協会 社団法人 日本証券投資顧問業協会
投資信託財産の運用指図などを行ないます。

受託会社 三菱UFJ信託銀行株式会社
投資信託財産の保管・管理・計算、外国証券を保管・管理する外国の金融機関への指示・連絡などを行ないます。

販売会社 販売会社につきましては、委託会社のホームページ(アドレス:<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>) をご参照または、フリーコール:0120-00-8051(受付時間:営業日の午前9時～午後5時)までお問い合わせいただけます。ファンドの募集の取扱い、一部解約の実行の受付、収益分配金の再投資ならびに収益分配金・償還金・一部解約金の支払などを行ないます。

- ・当資料はフィデリティ投信によって作成された最終投資家向けの投資信託商品販売用資料です。
- ・投資信託のお申込みに関しては、以下の点をご理解いただき、投資の判断はお客様ご自身の責任においてなされますようお願い申し上げます。なお、当社は投資信託の販売について投資家の方の契約の相手方とはなりません。
- ・投資信託は、預金または保険契約でないため、預金保険および保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。
- ・販売会社が登録金融機関の場合、証券会社と異なり、投資者保護基金に加入していません。
- ・投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本および利息の保証はありません。
- ・「フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド」が主に投資を行なう投資対象ファンドは、主として国内外の株式等を投資対象としていますが、その他の有価証券に投資することもあります。
- ・ファンドの基準価額は、投資対象ファンドが組み入れた株式等やその他の有価証券の値動き、為替相場の変動等の影響により上下しますので、これにより投資元本を割り込むことがあります。また、投資対象ファンドが組み入

- れた株式等やその他の有価証券の発行者の経営・財務状況の変化およびそれらに関する外部評価の変化等により、投資元本を割り込むことがあります。すなわち、保有期間中もしくは売却時の投資信託の価額はご購入時の価額を下回ることもあり、これに伴うリスクはお客様ご自身のご負担となります。
- ・ご購入の際は契約締結前交付書面および投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめまたは同時にお渡しいたしますので、必ずお受取りのうえ内容をよくお読みください。
- ・投資信託説明書(交付目論見書)については、販売会社またはフィデリティ投信までお問い合わせください。なお、当ファンドの販売会社につきましては以下のホームページ(<http://www.fidelity.co.jp/fij/fund/japan.html>)をご参照ください。
- ・当資料に記載の情報は、作成時点のものであり、市場の環境やその他の状況によって予告なく変更することがあります。また、いずれも将来の傾向、数値等を保証もしくは示唆するものではありません。当資料に記載の内容は将来の運用結果等を保証もしくは示唆するものではありません。
- ・FIL LimitedおよびFMR LLCとそれらの関連会社のネットワークを総称して「フィデリティ」ということがあります。

フィデリティ・ワールド好配当株・ファンド 販売会社情報一覧(順不同)

金融商品取引業者名		登録番号	日本証券業協会	(社)日本証券 投資顧問業協会	(社)金融先物 取引業協会
エース証券株式会社	金融商品取引業者	近畿財務局長(金商)第6号			
株式会社SBI証券	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第44号			
極東証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第65号			
株式会社近畿大阪銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第7号			
株式会社西京銀行	登録金融機関	中国財務局長(登金)第7号			
株式会社埼玉りそな銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第593号			
トヨタファイナンシャルサービス証券株式会社	金融商品取引業者	東海財務局長(金商)第16号			
日興コーディアル証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第129号			
株式会社八十二銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第49号			
フィデリティ証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第152号			
株式会社北陸銀行	登録金融機関	北陸財務局長(登金)第3号			
ザ・ホンコン・アンド・シャンハイ・バンキング・ コーポレーション・リミテッド(香港上海銀行)	登録金融機関	関東財務局長(登金)第105号			
丸三証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第167号			
株式会社八千代銀行	登録金融機関	関東財務局長(登金)第53号			
楽天証券株式会社	金融商品取引業者	関東財務局長(金商)第195号			
株式会社りそな銀行	登録金融機関	近畿財務局長(登金)第3号			

* 上記情報は当資料作成時点のものであり、今後変更されることがあります。
販売会社によってお申し込みの条件、制限等が異なります。詳しくは販売会社にお問い合わせ下さい。